【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公開番号】特開2006-153177(P2006-153177A)
【公開日】平成18年6月15日(2006.6.15)
【年通号数】公開・登録公報2006-023
【出願番号】特願2004-346027(P2004-346027)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｋ　31/06　(2006.01)
Ｆ１６Ｋ　51/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　8/04　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　8/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｋ　31/06　３８５Ｚ
Ｆ１６Ｋ　31/06　３０５Ｈ
Ｆ１６Ｋ　31/06　３０５Ｋ
Ｆ１６Ｋ　31/06　３０５Ｎ
Ｆ１６Ｋ　51/00　Ｂ
Ｈ０１Ｍ　8/04　Ｎ
Ｈ０１Ｍ　8/10

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月25日(2006.8.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５０】
第１ポート１２の外周面には、環状溝を介してシール部材６６ａが装着されている。そのため、前記第１ポート１２に図示しないチューブを装着した際に、前記シール部材６６ａが前記チューブの内周面との間に挟持され、前記チューブの内部を流通する水素の気密性が保持される。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１０】
図１に示されるように、燃料電池システム２００において、燃料電池用電磁弁１０の第１ポート１２は、図示しないチューブを介して燃料電池スタック２０２の内部の水素を排気するための水素排出口２１８（図１参照）に接続される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１５】
その結果、燃料電池用電磁弁１０がオフ状態からオン状態（弁開状態）に切り換わる。

従って、燃料電池スタック２０２の内部において余剰した水素が前記燃料電池スタック２０２の水素排出口２１８から導出され、前記水素が図示しないチューブを介して第１ポート１２から導入される。前記第１ポート１２から導入された水素は、絞り部材５４のオリフィス５２によって所定の流量に絞られて減圧された後、第１連通室３０から弁座６２の内部を介して第２連通室５６へと流通して第２ポート１４から導出される。